



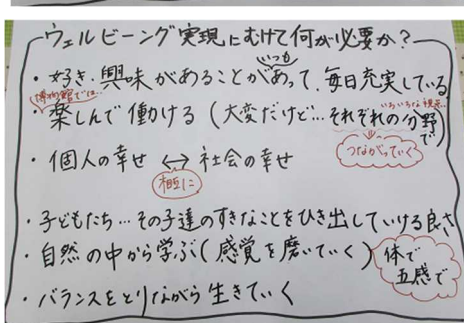
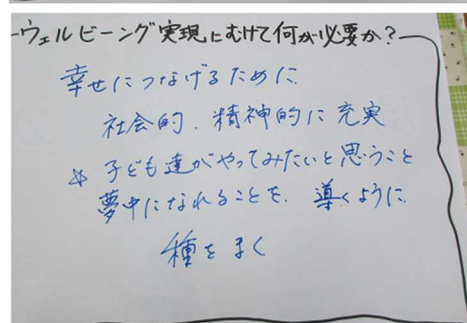
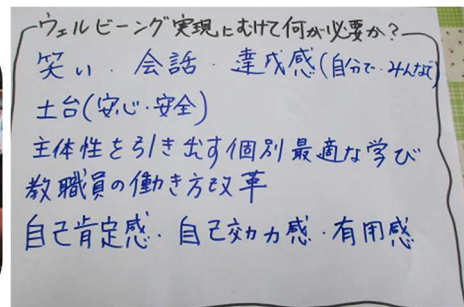
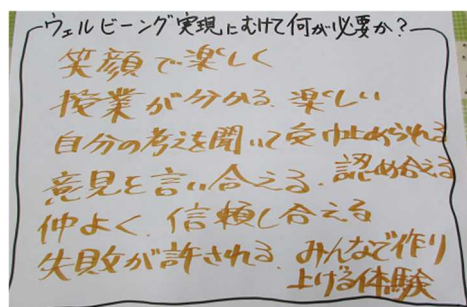
1 明南小クラブ活動『折り紙クラブ』 7月9日(木)



明南小折り紙クラブでは、学校支援ボランティア「とんがりサポート」の方々に教えていただきながら、折り紙作りを楽しんでいます。普段目にすることがない素敵な作品が、自分で作れたときの子どもたちは「すごい、できたあ!」と、笑顔でいっぱいです。

2 明北小職員『ウェルビーイング実現にむけて何が必要か?』6月17(水)

明北小では、TOCO-TON 等に関わる職員ミーティングを適宜行っています。先生方が、和気藹々と自由に語り合える場になっています。今回のテーマは「ウェルビーイング実現にむけて何が必要か?」についてです。最初に、座席が近い先生方でグループを作り、考えを出し合いました。これまでの、学級や学校全体での取り組みから、ウェルビーイング実現に向けた先生方の様々な思いが語られました(下記参照)。そして、各グループの記録を全員で共有しました。TOCO-TON 実践校として、振り返りをしながら、これからの取り組みを考えていく上で貴重な時間になっています。



3 明南小あやめ学級『喫茶店ギャラクシー オープン！』7月16(木)・17日(金)

この春、「コーヒー豆をひくところからやってみたい！」という、あやめ学級児童一人の願いの実現に向けて動き出した取り組みです。昨年度、学級でお菓子作りをした際、他の児童から「お茶も出したいな」「歌やダンスをして楽しんでもらいたい」という声も聞かれました。みんなの思いが重なって、『カフェをやろう！』と、目指したい目標が決まりました。

最初の学習でお店の名前を決めましたが、店名『喫茶店ギャラクシー』には、一つひとつ輝き方の異なる星たち（子どもたちの考えた、カフェのイメージキーワード）が集まって、1つの魅力溢れる銀河（ギャラクシー）となっている意図が込められています。

カフェという言葉は知っているものの、何をすればいいのかははっきりしていなかったので、まずは「カフェってどんなところなのか見に行こう」と、学校近くのカフェにお願いし、“カフェはどんなことをしているか”“お店の人がどんなふうに動いているか”を見聞きしてきました。その際、コーヒーをいれるところも見せてもらい、まめの量・豆の挽き方・お湯の注ぎ方・温度等も教えてもらいました。接客の仕方についても、お話しをお聞きすることができました。1番は「お客様にとって居心地がいい空間になること」とのお話しをお聞きし、喫茶店を開く子どもたちの心にも響いていたのではないかと思います。

開店当日は、子どもたちたちなりに言葉を選び接客をしていました。会計もがんばりました。本格的に豆から挽いたコーヒー、学校の畑で栽培したズッキーニを使ったお菓子も美味しかったです。待っている間に大好きなダンスも踊ってくれました。（拍手）

<喫茶店ギャラクシー開店>



生活単元学習『喫茶店ギャラクシー』オープン！（あやめ学級おたよりから）

待ちに待った『喫茶店ギャラクシー』のオープンです！「お客様にどんな言葉がけをしよう？」「私、ダンスする！」「コーヒーは任せて！」「みんなでどんなオープン初日にしたいか話し合いました。初日から満席の大盛況（お客さんは先生方）で、閉店を迎えるころには、みんな疲労困憊。「やりきったぞ〜！」という達成感に溢れる表情でした。今回は初の「2日間連続営業」です。初日を振り返り、「次はこうした方がもっとお店が回りそう」など、反省点から改善点を見つける姿もありました。

生活単元学習の中で、子どもたちは自分の意見を言葉にし、「あ！これ、かけ算使うと早く計算できそう！」と、教科学習が自立の力に繋がっていることに気づいたりします。初日の反省点を生かし、2日目も張切って取り組んでいました。